

セキュアアプリケーションアナリスト

- ▶ 対象
 - リスク分析を担当する開発リーダーやアナリスト
 - アプリケーション要件定義を行う開発担当者や開発リーダー

- ▶ 資格取得後のスキルセット目標
 - アプリケーション開発の要件定義工程におけるアプリケーションの脆弱性・脅威分析を行うことができる。
 - アプリケーション開発の要件定義工程において、情報セキュリティポリシー、求められるセキュリティ要件、脆弱性・脅威分析の結果を考慮して、セキュリティ要件定義書を作成することができる。

- ▶ 教育カリキュラム・試験出題項目
 - アプリケーションに関連する情報資産のセキュリティ評価方法
 - 情報資産リスクの特定（脆弱性・脅威の検出）・算定・評価方法
 - リスク分析とリスクの特定（STRIDE/DREAD）
 - リスク対策の選択（セキュリティパターンの適用）
 - セキュリティ要件定義のための情報収集・分析・決定
 - 要件定義レベルでのセキュリティベストプラクティス知識（アクセス制御、特権の最小化、攻撃方法、暗号システム、認証技術、パスワード・アカウント管理、アプリケーション保護技術、ネットワーク保護技術、ログ監視技術、マルウェア、デジタル署名技術）

- ▶ 試験で問う知識
 - ユースケースを用いたアプリケーションのセキュリティ分析が可能かを問う。（課題ドメインの絞込み、各部分の関連性、システム境界、前後条件、アクタ・役割、管理機能など）
 - 悪用ケース分析が可能かを問う。
 - 要件定義レベルでのセキュリティパターンを理解しているかを問う。
 - 要件定義レベルでのセキュリティベストプラクティスを理解しているかを問う。
 - ユーザロール・権限でのセキュリティベストプラクティスを理解しているかを問う。